

令和3年度 セーフティ教室 指導略案 5年1・2・3組

日 時 令和3年6月12日(土) 3校時
 児童数 1組40名 2組40名 3組40名
 指導者 5年1組 担任 岸野 航太
 2組 担任 中澤 優美
 3組 担任 林谷 健太郎

- 1 活動名 「自分の心にブレーキをかけよう(窃盗・万引き)」
- 2 ねらい 万引きは犯罪であることを理解し、どんな時もきまりを守って行動しようとする態度を育てる。
- 3 展開

学習過程	学習活動	指導上の留意点
導入	1 クイズを通して、「万引き」について考えることを理解する。 ○一度やるとまたしたくなるもの。 ○スリルがあるもの。	・「万引き」という言葉を隠しておき、ヒントを与えて隠れている言葉を考えさせ、印象付ける。
展開	2 万引きをしてしまった女の子の作文(前半)を聞く。 3 シャーペンを手にして走り出した時の気持ちを考える。 ○どうしてもほしいな。 ○一回ぐらい平気かな。 ○見つからなければいい。 4 万引きをした後、どうなるのかを考える。 ○警察につかまる。 ○お家の人に連絡が行く。 5 万引きをしてしまった女の子の作文(後半)を聞く。 6 「万引き」について思ったことを話し合う。 ○たった一回の万引きで、こんなに大変なことになるなんて思わなかった。 ○後で必ず後悔すると思うから、絶対にしてはいけないと思った。	・万引きをして見つかったところまでを読み聞かせ、考えさせる。 ・吹き出しを用いて板書し、女の子の気持ちを捉えやすくさせる。 ・少人数で話し合わせ、全員が主体的に参加できるようにする。 ・万引きをした後の出来事を読み聞かせ、万引きの恐ろしさに気付かせる。
まとめ	7 万引き防止キャッチフレーズを考える。	・日野市での万引き発生件数や、万引きが法律上どのような犯罪にあたるのかを紹介する。 ・都内で行われている万引き防止の「キャッチフレーズ作り」を紹介する。